



平成30年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社PKSHA Technology
コード番号 3993 URL <https://pkshatech.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 上野山 勝也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 吉岡 哲俊

TEL 03-6801-6718

四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	719		343		339		225	
29年9月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 224百万円 (%) 29年9月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	17.52	16.30
29年9月期第2四半期		

(注) 平成29年9月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	6,114		5,786			94.6
29年9月期	5,852		5,539			94.6

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 5,783百万円 29年9月期 5,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		0.00	0.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	49.9	560	41.7	550	43.2	560	109.0	43.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	13,123,000 株	29年9月期	12,779,000 株
期末自己株式数	30年9月期2Q	株	29年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	12,851,643 株	29年9月期2Q	株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、機械学習/深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの属する人工知能(AI)技術領域では、引き続きアルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化、効率化を目指すニーズの高まりを受け、良好な市場環境が続いております。

こうした環境の中で、当社グループは新規案件の獲得およびアルゴリズムライセンスの積み上げを推し進めるとともに、アルゴリズムソフトウェアを拡販してまいりました。同時に優秀な人材の採用を積極的に進めており、当第2四半期末時点における従業員数は連結44名(子会社役員含む)となっております。さらに中長期の成長を見据えたアルゴリズムソフトウェアの研究開発や先行投資を継続して行っております。また、経営管理体制も強化しており、収益管理の精緻化など経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は719,033千円、営業利益は343,522千円、経常利益は339,804千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は225,099千円となりました。

なお、当社グループは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,114,228千円となり、前連結会計年度末に比べ261,571千円増加いたしました。流動資産は5,768,487千円(前連結会計年度末比135,242千円増)となりました。主な増加要因は、売掛金が130,327千円増加したことによるものであります。また、固定資産は325,539千円(前連結会計年度末比130,579千円増)となりました。主な増加要因は、投資その他の資産が90,845千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は327,887千円となり、前連結会計年度末に比べ14,500千円増加いたしました。主な増加要因は、前受金が27,102千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,786,340千円となり、前連結会計年度末に比べ247,070千円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により225,099千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は5,443,469千円となり、前連結会計年度末に比べ16,809千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は123,181千円となりました。これは主に、売上債権の増加130,327千円、法人税等の支払額111,397千円を計上したものの、税金等調整前四半期純利益334,352千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は162,174千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出89,307千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は22,184千円となりました。これは、株式の発行による収入22,184千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月9日に公表いたしました「平成29年9月期 決算短信」の数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成30年5月11日）公表しました「固定資産の譲渡及び特別利益の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,460,278	5,443,469
売掛金	148,112	278,440
その他	25,668	48,248
貸倒引当金	△814	△1,670
流動資産合計	5,633,245	5,768,487
固定資産		
有形固定資産	41,839	48,217
無形固定資産	114,698	148,054
投資その他の資産	38,421	129,267
固定資産合計	194,960	325,539
繰延資産	24,452	20,201
資産合計	5,852,657	6,114,228
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	138,024	126,014
その他	175,225	201,872
流動負債合計	313,249	327,887
固定負債		
その他	137	-
固定負債合計	137	-
負債合計	313,386	327,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,336	2,521,508
資本剰余金	2,509,336	2,520,508
利益剰余金	516,182	741,282
株主資本合計	5,535,855	5,783,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	312	99
その他の包括利益累計額合計	312	99
新株予約権	3,102	2,943
純資産合計	5,539,270	5,786,340
負債純資産合計	5,852,657	6,114,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	719,033
売上原価	250,449
売上総利益	468,583
販売費及び一般管理費	125,060
営業利益	343,522
営業外収益	
雑収入	532
営業外収益合計	532
営業外費用	
株式交付費償却	4,250
営業外費用合計	4,250
経常利益	339,804
特別損失	
投資有価証券評価損	5,452
特別損失合計	5,452
税金等調整前四半期純利益	334,352
法人税、住民税及び事業税	108,986
法人税等調整額	266
法人税等合計	109,253
四半期純利益	225,099
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,099

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	225,099
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△212
その他の包括利益合計	△212
四半期包括利益	224,886
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	224,886

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	334,352
減価償却費	20,969
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,452
売上債権の増減額 (△は増加)	△130,327
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,454
前受金の増減額 (△は減少)	27,102
未払金の増減額 (△は減少)	△4,800
その他	△12,715
小計	234,578
利息の受取額	0
法人税等の支払額	△111,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,120
無形固定資産の取得による支出	△48,798
投資有価証券の取得による支出	△89,307
敷金の差入による支出	△11,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	22,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,809
現金及び現金同等物の期首残高	5,460,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,443,469

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。